

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年5月9日発行

－ 2017.4.24～ 2017.4.30－第17週－

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第14週	第15週	第16週	第17週
水痘	5 1.00	3 0.30		3 1.50		2 0.40	1 0.50	5 0.19	19 0.32	446				
流行性耳下腺炎		4 0.40	1 0.20					2 0.07	7 0.12	190				
百日咳									0	5				
感染性胃腸炎	55 11.00	43 4.30	13 2.60	19 9.50	5 1.67	11 2.20		146 5.41	292 4.95	3,908	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.2								1 0.02	18				
伝染性紅斑								2 0.07	2 0.03	34				
突発性発しん	3 0.60	5 0.50	8 1.60	1 0.50	3 1.00	2 0.40		18 0.67	40 0.68	493	○	○	○	○
ヘルパンギーナ			1 0.20						1 0.02	8				
インフルエンザ	39 4.88	63 4.20	28 3.50	19 6.33	56 11.20	40 5.00	7 1.75	228 5.18	480 5.05	26,092	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	12 1.20		2 1.00	2 0.67	8 1.60		23 0.85	48 0.81	345		○	○	○
流行性角結膜炎									0	36				
急性出血性結膜炎									0	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30 6.00	33 3.30	5 1.00		6 2.00	32 6.40	4 2.00	58 2.15	168 2.85	2,725	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0	0				
無菌性髄膜炎									0	0				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00				4 0.80	5 0.42	88				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0	0				
RSウイルス感染症		5 0.50						7 0.26	12 0.20	165				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)						1 1.00		7 1.40	8 0.67	39				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	3			1			1					
	川崎病													
	不明発疹症								2					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名  
仙台管内 男性1名、女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)

仙台管内 男児1名\*

細菌性赤痢

塩釜管内 女性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 男性1名

アメーバ赤痢

石巻管内 男性1名

梅毒

塩釜管内 男性1名

\*男児は6歳未満

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

石巻管内 第16週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 1件  
第16週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件  
塩釜管内 第16、17週採取分 インフルエンザウイルスB型 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第14週採取分 (4.3～4.9)	第15週採取分 (4.10～4.16)	第16週採取分 (4.17～4.23)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	0件	1件
インフルエンザウイルスB(山形系統)	1件	0件	0件
インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	0件	1件	0件
アデノウイルス	4件	0件	2件
エンテロウイルス	0件	0件	1件
ライノウイルス	1件	0件	0件
単純ヘルペスウイルス	1件	1件	0件

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

登米管内で注意報値を超えた

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報継続中

## 4. 今週のコメント

### 【インフルエンザ】

県では、平成29年4月27日にインフルエンザ警報を解除していましたが、今週、登米管内において、再びインフルエンザの1定点医療機関当たりの患者報告数が注意報基準値の10人を超えたことから、5月9日に「インフルエンザ注意報」を発令しました。県全体の患者報告数は横ばい傾向ですが、先週に比べ患者の増加している地域もあります。保健環境センターでもインフルエンザ患者からB型が検出されていることから、現在はB型が主流であると考えられます。今後も継続して感染予防、二次感染防止に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

